

出雲市総合振興計画「出雲新話 2030」後期基本計画（案）について

本市では、令和 4 年度に出雲市総合振興計画「出雲新話 2030」前期基本計画（以下、「前期基本計画」という。）を策定し、まちづくりの将来像である『出雲力』で夢☆未来へつなげ誰もが笑顔になれるまちの実現をめざし、各種施策・事業に取り組んでいます。

本年度は、前期基本計画の最終年度であることから、これまでの取組状況を検証するとともに、別途策定する「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略」（案）と整合性を図りながら、後期基本計画（案）を策定しましたので、次のとおり報告します。

1. これまでの経過

(1) 策定体制

市議会議員、有識者、各種団体の代表等で構成する「出雲市総合計画評価検討会議」を開催し、前期基本計画の評価検証を行うとともに、後期基本計画策定に向けた審議を行いました。

(2) 審議内容

月	庁内推進 本部会議	総合計画評価 検討会議 (有識者会議)	市議会	市政懇談会
6 月			6 月議会： 後期計画策定方針	
7 月				
8 月	・後期計画策定方針 ・前期計画評価検証	第 1 回： 後期計画策定方針		
9 月		第 2 回： 前期計画評価検証	9 月議会： 前期計画評価検証	9/19～11/1 14 中学校区 ・前期計画評価検証 ・意見交換
10 月		第 3 回： 後期計画 K P I （案）		
11 月	後期計画（案）	第 4 回： 後期計画（案）		

2. 前期基本計画の成果と課題

(1) 基本方策ごとの成果と課題

【チャレンジ目標1】ともに創る

チャレンジ目標 (R4～R11)	実績値 (R4～R5)
新規雇用創出 (8年間) 2,000人	852人
	(8年間達成率 42.6%)
2年間 500人	(2年間達成率 170.4%)

新規雇用創出については、企業誘致を中心に大きな成果を上げています。第一次産業は、新規就業者はあるものの、依然として従事者の高齢化と後継者不足が進行しています。

一方、生産年齢人口の減少等により、本市においても産業各分野における人手不足は深刻化しており、企業誘致や設備の増設に伴う雇用拡大が効果をあげ、令和4年度からの2年間で、852人となり、チャレンジ目標に対し42.6%の達成率となりました。

【チャレンジ目標2】ともに守る

チャレンジ目標 (R12)	実績値※ (H25～R3)
CO ₂ の排出量 46%削減	15.6%削減
(平成25年度比)	(目標年度達成率 33.9%)
平成25年度～令和3年度までで21.6%削減	(令和3年度時点達成率 72.1%)

※令和6年度環境省公表(令和3年度実績値)データによる推計値

令和6年度に発表された直近のデータでは、平成25年度比でCO₂の排出量を15.6%削減しています。

しかし、2030年の目標達成のためには、脱炭素社会実現に向けた技術開発や社会実装の取組が進められる中、市民や事業者に対しては、より効果的な普及啓発を行い、更なる行動変容を促す取組が必要です。

【チャレンジ目標3】ともに結ぶ

チャレンジ目標 (R4～R11)	実績値 (R4～R5)
交流人口 (8年間) 1億人	2,259万人
	(8年間達成率 22.6%)
2年間 2,500万人	(2年間達成率 90.4%)

交流人口(観光入込客数)の令和5年度までの累計数は、2,259万人となりました。

令和5年度は、新型コロナが第5類感染症になり観光需要が高まる中、トレンドを意識した誘客情報発信や受入環境の改善等により、多くの観光客の入込がありました。

【チャレンジ目標4】ともに支える

チャレンジ目標 (R11)	実績値 (R5)
合計特殊出生率 (8年後) 2. 1	1. 5 1
健康寿命延伸 (8年後) 1年	男性0. 8 9年 女性0. 7 5年
2年目 0. 2 5年	8年後達成率 男性 89% 女性 75% 2年目達成率 男性 356% 女性 300%

令和5年の合計特殊出生率は、1. 5 1となりました。全国平均が1. 2、島根県平均が1. 4 6であり、本市の合計特殊出生率は国・県より高い数値で推移していますが、出生数は減少傾向です。一方、健康寿命^{※1}は、基準値^{※2}より男性0. 8 9年、女性0. 7 5年それぞれ延伸しました。

※1 本市の平成30年～令和4年の65歳平均自立期間の平均値

※2 本市の平成23年～平成27年の65歳平均自立期間の平均値

【チャレンジ目標5】ともに育む

チャレンジ目標 (R11)	実績値 (R5)
高校生が「出雲に愛着や、魅力・誇りを感じる」と答えた割合 (8年後) 8 5 %	8 0. 9 % (目標年度達成率 95. 3%)

令和5年度の高中生アンケートで出雲に愛着や魅力・誇りを「感じる」、「ある程度感じる」と答えた高校生の割合は80. 9%となりました。

子どもたちが出雲に愛着や魅力・誇りを感じるよう、まちづくりを推進するとともに、小・中学生の「ふるさと教育」などの取組を継続する必要があります。

【チャレンジ目標6】ともに楽しむ

チャレンジ目標 (R4～R11)	実績値 (R4～R5)
生涯学習等施設利用者数 2, 2 0 0 万人	4 8 5 万人
2年間 5 5 0 万人	(8年間達成率 22. 0%) (2年間達成率 88. 2%)

令和4年度は新型コロナの影響があったものの、令和5年度から回復し、一部の施設利用者数は増加傾向にあります。

一方で、コミュニティセンターの利用者は、コロナ禍を機に、地域の集会やイベント等が減少したため、平成30年度に比べ十分な回復にはなっていません。

チャレンジ目標の生涯学習等施設利用者数の累計は令和4年度からの実績で485万人であり、目標の2, 200万人まで1, 725万人となっています。

(2) 総合計画評価検討会議（有識者会議）及び市政懇談会での主な意見

基本 方策	総合計画評価検討会議（有識者会議）	市政懇談会
ともに創る	・「おいしい出雲」の取組の強化 ・外国人創業者への支援 ・ビジネスマッチングの差別化などの強化 ・新商品開発や商品改良の支援 ・多種多様な企業の誘致 ・SNS等、若者に親しみのあるツールによる就職情報の発信 ・専門学校にトラベルビジネス科の設置	・農業の担い手や耕作放棄地対策 ・漁業の担い手対策 ・地域の特産品の支援 ・高校卒業後も地域と関わる仕組みづくり
ともに守る	・災害に備えた避難訓練や地域のつながりの強化	・内水氾濫への対応 ・避難所へのエアコン設置やバリアフリーなどの改修 ・半島部の道路整備 ・空き家対策 ・神西湖の環境保全
ともに結ぶ	・外国人観光客の受け地対策 ・体験型コンテンツの造成 ・日本版ライドシェアに向けた検討 ・アジア圏域からの外国人住民の定住支援 ・結婚対策の積極的な取組	・UIターンの更なる取組、中山間地域に特化した取組 ・外国人住民へのコミュニケーション支援 ・外国人住民が暮らしやすい取組 ・新幹線開通の取組 ・8の字ルート整備事業の取組
ともに支える	・児童クラブの時間延長や対象年齢の拡大 ・不妊、不育症治療の支援 ・男性が育児休暇を取りやすい職場環境づくりの支援 ・LGBTQの取組 ・中山間地域の機能維持 ・地域おこし協力隊の活用 ・eスポーツの普及促進、デジタル人材の育成	・がん検診の受診率の向上 ・サル等有害鳥獣対策 ・道路の除草対策 ・市営住宅の入居要件の緩和 ・各地域の実情を踏まえた定額乗合交通の導入 ・携帯電話の不感エリアの解消
ともに育む	・不登校の未然防止対策、相談先の充実 ・フリースクール及び通う家庭への支援 ・閉校した学校の有効活用 ・災害時における自治会の重要性	・学校のトイレの改修 ・自治会加入率低下への対策 ・地域のコミュニティの維持や担い手の確保
ともに楽しむ	・高校生に魅力あるイベント、コンサート	・図書館にある貴重な文献の保存

(3) 総括 ～後期基本計画の策定に向けて～

前期基本計画の重要業績指標（K P I）は概ね目標を達成しており、着実に成果をあげていると考えています。

新規雇用創出について、企業誘致の取組を中心に大きな成果をあげています。一方、生産年齢人口の減少等により、本市においても労働力不足が喫緊の課題となっており、人材確保に向けた取組の強化が求められています。

頻発化・激甚化する自然災害に備えるため、道路や河川整備、内水氾濫対策等をはじめとするハード面と、情報発信や防災訓練等のソフト面の一体的な取組を進める必要があります。

また、脱炭素社会の実現に向けては、引き続き、市民及び事業者に対し普及啓発を推進する必要があります。

観光分野では、周遊・滞在型観光の充実やインバウンド対策を積極的に取り組みました。しかし、引き続き通過型観光からの脱却が課題であり、観光客の滞在時間を伸ばし、宿泊につなげていく取組が重要となっています。

次に、合計特殊出生率は、年々低下しており、将来的な人口維持につながる出生数を増加させるためにも、引き続き、若年女性人口の動向に留意しつつ、出会い・結婚、妊娠・出産、子育て・教育の切れ目のない支援を、より充実させていく必要があります。また、健康寿命は、男女とも着実に延伸しているため、現状の取組を継続することが必要です。

高校生アンケートの結果では、回答者の約 81%が 出雲市に愛着や誇りを持っていると感じており、目標の 85%を達成するためにも、より一層、ふるさと教育に取り組む必要があります。また、出雲市への定住意向がある高校生と、一度は県外へ出て戻ってきたい高校生の合計は約 58%となりました。高校生のニーズには、公共交通の充実や、幅広い雇用の場の確保や賑わいのあるまちづくり、子育てしやすい環境などがありました。引き続き、若者の意見を取り入れた、住みやすいまちづくりを展開していく必要があります。

加えて、教育分野については、児童生徒の学習意欲の向上、不登校児童の支援に対する継続的な取組が必要です。

また、自治会（町内会）は、地域の交流だけでなく、交通安全、防犯・防災など非常に重要な組織・団体ですが、近年、その加入率は低下傾向にあるため、引き続き、加入促進、脱退防止の取組を進める必要があります。

芸術文化・スポーツの推進については、新型コロナウイルスの影響で減少した施設利用者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準に完全回復するには至っていないため、利用者増加に向けた取組が必要です。

後期基本計画の策定に向けては、前期基本計画の課題や令和 6 年度末から導入する出雲市版デジタル地域通貨の活用など、デジタルツールの活用を盛り込んだ新たな視点で施策を検討します。そして、掲げる施策を着実に取り組むことで、引き続き本市の人口規模を維持し、まちづくりの将来像である『出雲力』で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまちの実現をめざします。

3. 出雲市総合振興計画「出雲新話2030」後期基本計画（案）の概要

(1) 計画の目的

出雲市総合振興計画「出雲新話2030」の将来像の実現をめざし、後期5年間の基本的な施策・事業を体系的に示すものです。

(2) 計画の期間

令和7年度(2025)～令和11年度(2029)の5年間

区分	1年目 R4 (2022)	2年目 R5 (2023)	3年目 R6 (2024)	4年目 R7 (2025)	5年目 R8 (2026)	6年目 R9 (2027)	7年目 R10 (2028)	8年目 R11 (2029)	— R12 (2030)
総合 振興 計画	基本構想(8年)								
	前期基本計画(3年)			後期基本計画(5年)					
総合 戦略	まち・ひと・しごと創生 第2期総合戦略(5年)			デジタル田園都市構想総合戦略(5年)					
財政 計画	中期財政計画(3年)			中期財政計画(3年)			中期財政計画(3年)		

(3) 推進体制

基本計画については、施策ごとにPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）による点検・評価検証を毎年度実施します。

必要に応じて、施策内容や目標値を見直すことで、より効率的で効果的な施策を実施します。

(4) 総合振興計画「出雲新話2030」施策の体系（8～12ページ参照）

まちづくりの将来像：「出雲力」で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち

基本方針：将来像を実現するための6つの柱

まちづくりの施策：27項目

基本的方向：115項目

(5) 基本計画において掲げる、基本的方向ごとの具体的施策・まちづくりの指標（K P I）等（13ページ参照）

前期基本計画における取組の現状・課題や社会の情勢を踏まえ、必要に応じ内容の見直しを行ったうえで設定

① 具体的施策

- ・まちづくりの施策及び基本的方向の実現に向けた具体的な施策

② まちづくりの指標（K P I）

- ・各種個別計画にK P I が設定されている場合は、そのK P I を採用
- ・アウトプット(実施回数等)ではなく、できる限りアウトカム(効果、成果)を設定

K P I 数

前期基本計画 195項目

後期基本計画 235項目

前期と同様	前期を見直し	前期から削除	新規設定
102項目	48項目	45項目	85項目

③ デジタルの施策に係るロードマップ

基本的方向の実現に向けて、活用を検討するデジタル施策については、令和3年度に策定した『出雲市デジタルファースト推進計画』の実現に向けたロードマップ」に掲げた内容を、現状に合わせて見直し、デジタル施策に係るロードマップとして掲載

※「出雲新話2030」と「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略」に掲げる、具体的施策及びまちづくりの指標（K P I）と同一とします。

4. 今後のスケジュール

月	庁内推進 本部会議	総合計画評価 検討会議 (有識者会議)	市議会	パブリックコメント
12月			12月議会： 後期計画（案）	下旬～：開始
1月				～下旬：取りまとめ
2月	後期計画（最終案）	第5回： 後期計画（最終案）		
3月			3月議会： 後期計画（最終案）	

まちづくりの将来像 「出雲力」で 夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち

【施策体系図】

まちづくりの施策（取組）		ともに創る	ともに守る	ともに結ぶ	ともに支える	ともに育む	ともに楽しむ
施策名	01 海・山・大地の恵みを生かす	●	○	○	○	○	○
	02 “出雲”の「ブランド力」で価値を高める	●		○		○	○
	03 地場企業が地域を支える	●		○	○	○	
	04 多種多様な企業立地を	●		○			
	05 「人財力（じんざいりょく）」で地域産業を“前へ”	●		○		○	
	06 誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに		●	○	○	○	
	07 未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ	○	●		○	○	○
	08 期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲	○		●	○		○
	09 「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び			●	○		○
	10 ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	○	○	●	○		○
	11 あのまち・このまち 出雲を結ぶ	○		●		○	○
	12 いにしへの「財（たから）」を守り、活かす		○	●		○	○
	13 「産みたい」「育てたい」を応援				●	○	○
	14 ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	○			●	○	
	15 いつまでも元気、ずっと現役で	○			●	○	○
	16 誰もが大切にされる社会をめざして	○	○	○	●	○	○
	17 めくもりのある福祉サービスを		○		●	○	○
	18 地域特性を生かして安心な医療を		○		●		
	19 地域とともに持続可能な中山間地域を	○	○	○	●	○	○
	20 出雲のインフラを整え「安心」を支える		○	○	●	○	
	21 デジタルの力で未来をデザイン	○	○	○	●	○	○
	22 家庭・地域・学校で育む出雲の教育を				○	●	○
	23 人が地域を、地域が人を育てる			○	○	●	○
	24 芸術文化で豊かな出雲を			○	○	○	●
	25 スポーツで元気な出雲を			○	○	○	●
	26 誰もの「学びたい」を実現				○	○	●
	27 出雲の魅力、発信します			○		○	●

		総合振興計画「出雲新話２０３０」				デジタル田園都市構想総合戦略
方策 連番	基本方策	施策名		小項目	基本的方向	基本目標
		連番	まちづくりの施策（取組）	連番		
1	ともに創る	1	海・山・大地の恵みを生かす	1	新しい農業のカタチへの挑戦	基本目標(1) 雇用創出
				2	農村環境を次世代へつなぐ	基本目標(1) 雇用創出
				3	「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ	基本目標(1) 雇用創出
				4	農福連携で相乗効果を	基本目標(1) 雇用創出
				5	循環型林業で新たな道を〴〵伐り〴〵拓く	基本目標(1) 雇用創出
				6	豊かな海の恵みのタスキをつなぐ	基本目標(1) 雇用創出
		2	〴〵出雲〴〵のブランド力で価値を高める	7	出雲の〴〵誇り〴〵を全国・世界へ発信	基本目標(1) 雇用創出
				8	「おいしい出雲」でご縁をつなぐ	基本目標(1) 雇用創出
				9	海・山・大地の恵みに新たな発想を	基本目標(1) 雇用創出
		3	地場企業が地域を支える	10	ネットワークで中小・小規模企業の未来を創る	基本目標(1) 雇用創出
				11	創業支援で夢を叶える	基本目標(1) 雇用創出
				12	ご縁の力で国内外へビジネスチャンスを拡大	基本目標(1) 雇用創出
				13	産学官金連携で新商品・新サービスを開発	基本目標(1) 雇用創出
				14	〴〵きらり〴〵と光る事業者やノウハウを次世代につなぐ	基本目標(1) 雇用創出
		4	多種多様な企業立地を	15	「出雲で働きたい」を叶える	基本目標(1) 雇用創出
				16	「魅力度No.1」の企業立地環境を	基本目標(1) 雇用創出
		5	「人財力（じんざいりょく）」で地域産業を〴〵前へ〴〵	17	「企業とのご縁」を結ぶ	基本目標(1) 雇用創出
				18	「帰ってきたい」を全力サポート	基本目標(1) 雇用創出
				19	「働き続けたい」を１００％に	基本目標(1) 雇用創出
				20	ＩＴ人材が育ち、集まるまちへ	基本目標(1) 雇用創出
				21	出雲で進学を夢を叶える	基本目標(1) 雇用創出
2	ともに守る	6	誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに	22	災害から生命・財産を守る	基本目標(4) 住みやすいまち
				23	感染症から身を守る	基本目標(4) 住みやすいまち
				24	交通事故・犯罪にあわないまちに	基本目標(4) 住みやすいまち
				25	安全な「かわ・みち」づくり	基本目標(4) 住みやすいまち
				26	「オール出雲」での空き家対策	基本目標(4) 住みやすいまち
				27	神話の地～出雲の守り人	基本目標(4) 住みやすいまち
				28	地域を守る消防団	基本目標(4) 住みやすいまち
				7	未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ	29
		30	みんなで取り組むCO ₂ 削減			基本目標(4) 住みやすいまち
		31	３Rで資源の循環を			基本目標(4) 住みやすいまち
		32	安全安心・快適な生活環境を次の世代へ			基本目標(4) 住みやすいまち
		33	豊かな自然環境を次の世代へ			基本目標(4) 住みやすいまち
		34	トキが飛び交う「美しい出雲」を			基本目標(4) 住みやすいまち

総合振興計画「出雲新話2030」					デジタル田園都市構想総合戦略
方策 連番	基本方策	施策名 連番	小項目 連番	基本的方向	基本目標
3	ともに結ぶ	8	期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲	35 世界から「IZUMO」へ	基本目標(1) 雇用創出
				36 デジタルプロモーションで出雲旅へいざなう	基本目標(1) 雇用創出
				37 「来て、観て、泊まって」出雲で満足	基本目標(1) 雇用創出
				38 広域観光で楽しむ	基本目標(5) 広域連携
				39 日本遺産で魅力を発信	基本目標(1) 雇用創出
				40 「おもてなし」の環境を整える	基本目標(1) 雇用創出
		9	「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び	41 びったりな支援で移住・定住の希望を叶える (住む人も地域も win-winな移住・定住を)	基本目標(2) 社会増
				42 外国人住民が暮らしやすいまちづくり	基本目標(2) 社会増
				43 人と人との縁を結び「結婚したい」を後押し	基本目標(3) 出生数
				44 対話を通じたまちづくり	基本目標(4) 住みやすいまち
		10	ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	45 国内外を結ぶ出雲縁結び空港	基本目標(4) 住みやすいまち
				46 線路がつなぐ旅と暮らし	基本目標(4) 住みやすいまち
				47 賑わう出雲河下港に	基本目標(4) 住みやすいまち
				48 魅力ある「みち」づくりをプッシュする	基本目標(4) 住みやすいまち
				49 8の字ルートの「みち」づくり	基本目標(5) 広域連携
		11	あのまち・このまち 出雲と結ぶ	50 広域連携でスケールメリットを最大限に発揮	基本目標(5) 広域連携
				51 ジオパークが大地と人とのつながりを伝える	基本目標(5) 広域連携
				52 国際交流で「IZUMO人」を育てる	基本目標(5) 広域連携
				53 国内交流で出雲ファンを増やす	基本目標(5) 広域連携
		12	いにしへの「財（たから）」を守り、活かす	54 出雲のルーツを探り、学び伝える	基本目標(4) 住みやすいまち
				55 出雲の財（たから）を未来へつなぐ	基本目標(4) 住みやすいまち
				56 いにしへの出雲を魅せる	基本目標(4) 住みやすいまち
				57 過去と未来を結ぶ人を育てる	基本目標(4) 住みやすいまち
4	ともに支える	13	「産みたい」「育てたい」を応援	58 子育てしやすい環境をつくる	基本目標(3) 出生数
				59 子ども・若者を地域で育て、見守る	基本目標(3) 出生数
		14	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	60 ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	基本目標(3) 出生数
		15	いつまでも元気、ずっと現役で	61 生涯現役の社会をつくる	基本目標(4) 住みやすいまち
				62 健康管理をし、健康寿命を延ばす	基本目標(4) 住みやすいまち
				63 「食」から豊かな人生を	基本目標(4) 住みやすいまち
		16	誰もが大切にされる社会をめざして	64 多様な価値観を認め、人権意識を高める	基本目標(4) 住みやすいまち
				65 多様性を認めあい、みんなでつくる ～多文化共生～	基本目標(4) 住みやすいまち
				66 多様性を認める社会の実現 ～ソーシャルインクルージョン～	基本目標(4) 住みやすいまち
		17	ぬくもりのある福祉サービスを	67 誰もが自分らしく活躍できる社会を ～地域共生社会～	基本目標(4) 住みやすいまち
				68 障がい者の自立と社会参加を支える	基本目標(4) 住みやすいまち
				69 高齢者の暮らしを支える	基本目標(4) 住みやすいまち

方策 連番	基本方策	総合振興計画「出雲新話2030」				デジタル田園都市構想総合戦略	
		施策名		小項目	基本的方向	基本目標	
		連番	まちづくりの施策（取組）	連番			
4	ともに支える	18	地域特性を生かして安心な医療を	70	質の高い効率的な医療の提供	基本目標(4) 住みやすいまち	
		19	地域とともに持続可能な中山間地域を	71	中山間地域に新たな風を	基本目標(4) 住みやすいまち	
				72	中山間地域のポテンシャルを生かす	基本目標(4) 住みやすいまち	
				73	安心して住み続けられる中山間地域を	基本目標(4) 住みやすいまち	
		20	出雲のインフラを整え「安心」を支える	74	地域の「かわ・みち」づくりで生活を豊かに	基本目標(4) 住みやすいまち	
				75	住まいを整える	基本目標(4) 住みやすいまち	
				76	上下水道で快適な生活を支える	基本目標(4) 住みやすいまち	
				77	利便性と癒しの都市空間を	基本目標(4) 住みやすいまち	
				78	みんなのための地域内交通	基本目標(4) 住みやすいまち	
				79	グリーンステップC谷を生かす	基本目標(4) 住みやすいまち	
				80	出雲らしい景観を守りぬく	基本目標(4) 住みやすいまち	
		21	デジタルの力で未来をデザイン	81	市民サービスのデジタルファースト	基本目標(4) 住みやすいまち	
				82	まちづくりのデジタルファースト	基本目標(4) 住みやすいまち	
				83	産業・観光のデジタルファースト	基本目標(1) 雇用創出	
				84	ともにデジタルファースト	基本目標(4) 住みやすいまち	
5	ともに育む	22	家庭・地域・学校で育む出雲の教育を	85	質の高い教育で学力アップ	基本目標(3) 出生数	
				86	ICT機器の活用で新たな学びのスタイルを	基本目標(3) 出生数	
				87	学びを広げ深める学校図書館へ	基本目標(3) 出生数	
				88	ふるさとへの愛を育む	基本目標(3) 出生数	
				89	家庭・地域と学校が手をつなぐ	基本目標(3) 出生数	
				90	出雲ならではの学び体験を	基本目標(3) 出生数	
				91	子どもの育ちをなめらかにつなぐ	基本目標(3) 出生数	
				92	一人ひとりの子どもの成長を支える	基本目標(3) 出生数	
				93	日本語指導で広がる子どもの希望	基本目標(3) 出生数	
				94	安全・安心でおいしい学校給食を	基本目標(3) 出生数	
				95	学びの場を整える	基本目標(3) 出生数	
		23	人が地域を、地域が人を育てる	96	市民協働の力が地域課題を解決	基本目標(4) 住みやすいまち	
				97	多様な学びを地域で生かす	基本目標(4) 住みやすいまち	
				98	NPO法人等の力を伸ばす	基本目標(4) 住みやすいまち	
				99	ボランティア活動のススメ	基本目標(4) 住みやすいまち	
				100	自治会加入で暮らしに安心を	基本目標(4) 住みやすいまち	
				101	”コミセン”が43のふるさとを支える	基本目標(4) 住みやすいまち	
				102	高等教育機関との連携で地域課題を解決	基本目標(4) 住みやすいまち	

		総合振興計画「出雲新話2030」				デジタル田園都市構想総合戦略
方策 連番	基本方策	連番	施策名 まちづくりの施策（取組）	小項目 連番	基本的方向	基本目標
6	ともに楽しむ	24	芸術文化で豊かな出雲を	103	芸術文化でこころ豊かに	基本目標(4) 住みやすいまち
				104	芸術文化を支える人づくり	基本目標(4) 住みやすいまち
				105	出雲が誇る文化資源を世界へ発信	基本目標(4) 住みやすいまち
		25	スポーツで元気な出雲を	106	自分を超えろ、神話をつくれ ～島根かみあり国スポ・全スポ～	基本目標(4) 住みやすいまち
				107	「する」「みる」「支える」スポーツへ ～Enjoy sports Enjoy Life～	基本目標(4) 住みやすいまち
				108	スポーツを支える人づくり	基本目標(4) 住みやすいまち
		26	誰もの「学びたい」を実現	109	地域で学び、楽しむ	基本目標(4) 住みやすいまち
				110	なんでも見つかる情報の宝庫	基本目標(4) 住みやすいまち
				111	子どもと本のかけ橋に	基本目標(4) 住みやすいまち
		27	出雲の魅力、発信します	112	出雲ファンを増やす	基本目標(2) 社会増
				113	「いずもな暮らし」からはじめよう	基本目標(2) 社会増
				114	日本中を駆ける！ヤマタノオロチ（出雲ナンバー）	基本目標(2) 社会増
				115	みんなに伝わる出雲の情報	基本目標(2) 社会増

1. 総合振興計画及び総合戦略での位置づけ	
基本方策	ともに 創る
まちづくりの施策	01 海・山・大地の恵みを生かす
基本的方向	1 新しい農業のカたちへの挑戦
	AI(人工知能)やICT等の先端技術を活用したスマート農業の推進や、付加価値をつけた販売展開の強化など、生産から販売までの様々な取組を関係者が一体となって進め、基幹産業である農業や、畜産業の持続的な発展をめざします。
総合戦略の基本目標	
基本目標(Ⅰ) 雇用創出	

2. 現状・課題

①	農業従事者の高齢化等により担い手が減少しており、スマート農業等により、農作業の省力化を進める必要があります。
②	平野部や中山間地域、施設栽培などそれぞれの栽培環境に適したスマート農業の普及が必要です。
③	国のスマート農業技術の開発・実証プロジェクト（出雲地域：ぶどう、斐川地域：水田農業）により、作業の省力化や所得向上などの成果が確認できたので、今後も普及を進めていきます。
④	みどりの食料システム法が施行され、環境負荷低減に向けた取組を進めていく必要がありますが、収量の減少、除草対策、作業負担の増加などの課題があります。
⑤	出雲のブランド力を活用した農畜産物の販売展開を進めていく必要があります。

3. 具体的施策	関連事業
① スマート農業技術の効果等のPR（現地説明会等）による普及を推進	新出雲農業チャレンジ事業 出雲農業未来の懸け橋事業
② 新出雲チャレンジ事業等の各種補助事業により、スマート農業機械の導入を支援	新出雲農業チャレンジ事業 出雲農業未来の懸け橋事業
③ スマート農業の普及による農作業の省力化や、労働時間の削減、農産物の生産・品質向上を推進	新出雲農業チャレンジ事業 出雲農業未来の懸け橋事業
④ みどりの食料システム戦略に対応した、スマート農業と環境負荷低減を組み合わせた技術の調査・研究及び取組を推進	新出雲農業チャレンジ事業 出雲農業未来の懸け橋事業
⑤ 普及が可能な有機農業等の環境にやさしい農業技術体系の検討を通して、独自認証制度によるブランド化の検討。（トキを育むいずも〇〇米等）	新出雲農業チャレンジ事業 出雲農業未来の懸け橋事業

4. まちづくりの指標(KPI)	単位	事業計画年度					
		現状値(R5)	R7	R8	R9	R10	R11
スマート農業機械を導入した、経営体の省力化割合(目標値に対して) 【内容見直し】	%	0	30	45	65	85	100
	(伸び)		30	15	20	20	15

※KPIに係る注釈

各経営体（達成状況÷目標値）の合計÷経営体数

5. デジタルの施策に係るロードマップ	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11～
スマート農業	国の実証プロジェクト						
							
	効果の検証						
							
		農業者への普及・定着					
							